

5月25日は女先生の祥月命日でありました。素晴らしい天候のお恵みを頂き、聖地御廟所にてご供養をさせていただきました。

本日まずは、「念願」のお話をさせていただきます。

妙智會では大きな行事の前に、天候念願のご修行があります。

しかしながら、天候念願をされている方は「念願をして晴れを頂こう」という強い思いでされているかと思います。

私たちは神や佛ではありませんので、そういう気持ちで念願をすることは間違いです。

会主さまは「本当の天候念願というのは、お経をあげて、自分自身の懺悔をして、自分が持っている因縁のご成佛を願う事なのです」とご指導を下さっております。

また「天候念願のお経をあげることで『私はやっているんだ』と、増上慢になってはいけないのです」と仰っております。

これが妙智會の本当の天候念願であり、全ての念願は、頭を下げ、懺悔をさせて頂くものです。ここがとても肝要なことです。

次のお話は「人気・人望・人徳」についてです。

「人気」とは移り変わりが激しいものです。そして人気があると有頂天になって、すぐに増上慢になってしまいます。

次に「人望」。人から望まれるということですが、平穩無事の時には望まれない、困ったときにしか望まれないのが人望です。

最後に「人徳」とは、人に徳を与えられるということです。

私たちは困った時にだけ人から望まれる「人望」のある人ではなく、日々自分自身を振り返り、懺悔をして、改めていく努力をすることで、人に徳を与えられる「人徳」を持つ人にならなければいけません。

よく会主さまは「日々懺悔をし、改めていく人は、人相や言葉が変わり自然と人が集まってくるのです。その人たちに教えを伝えていく事こそが、正しいお導きです」と仰っておりました。

さらに「人徳を持つほど、自分の足りないところに気づいて懺悔をして、お経をしっかりとあげて、目に見えない部分を解決していかなければならないのです」と教えて頂いております。

人徳を持つという事は、その人の言動で人を動かしてしまう責任があるからです。

本日お話をさせて頂きました事は、自分自身を変えていかなければ、周りは変わらないという事です。

どうぞ皆さま、改めて自分自身を振り返って、増上慢をとって、懺悔とご供養をして、目に見えないものを解決して、本当の意味での念願、そして「人徳」のある人になって頂くことをお願いいたします。